

野地・家地川・弘瀬地区におけるライドシェア導入について

1. ライドシェア導入の理由

令和8年4月1日に、国道381号を運行する四万十交通の路線バス「窪川―大正線」と「大正―十和線」を統合し、さらに複数の区間を短絡化することで、幹線系統としての速達性向上を図る。このため新しい幹線系統バス（窪川駅―道の駅とおわ）の新田バス停―弘瀬バス停間の野地、家地川、弘瀬の地区内における運行を取り止める。

一方で、当該区間の代替移動手段として、四万十町が運行主体となる新しい移動サービス（ライドシェア）の本格実施に取り組む。

- ① 乗務員不足により現在の路線規模維持が困難になることが懸念されている。乗務員の確保に向けた取り組みも行っているが、厳しい状況にある。
- ② 車両台数の制約があり、新たにコミュニティバス路線を増やすことが困難な状況。
- ③ 利用実態に応じ、路線の再配置を行う必要がある。（当該地区内の利用者数が少ない）
- ④ 既存の路線バスでは対応できない集落（日の谷、羽立川、サギノクシなど）が存在している。

⇒ 令和6年10月～令和7年3月までコミュニティバスの実証運行を行ったが、事業継続の判断につながる利用には至らず、コミュニティバスへの置き替えの検討は取り止め。

- ⑤ 既存の鉄道と幹線バスを組み合わせた幹線系統の交通網形成のために、幹線バスの速達性を高める必要がある。

【図：幹線系統速達化のために経路の見直し（短絡化）を行う地区】



2. ライドシェアの運行概要

(1) 運行の態様及び運行主体

本ライドシェアは、対象地区において予約がある場合に運行する。

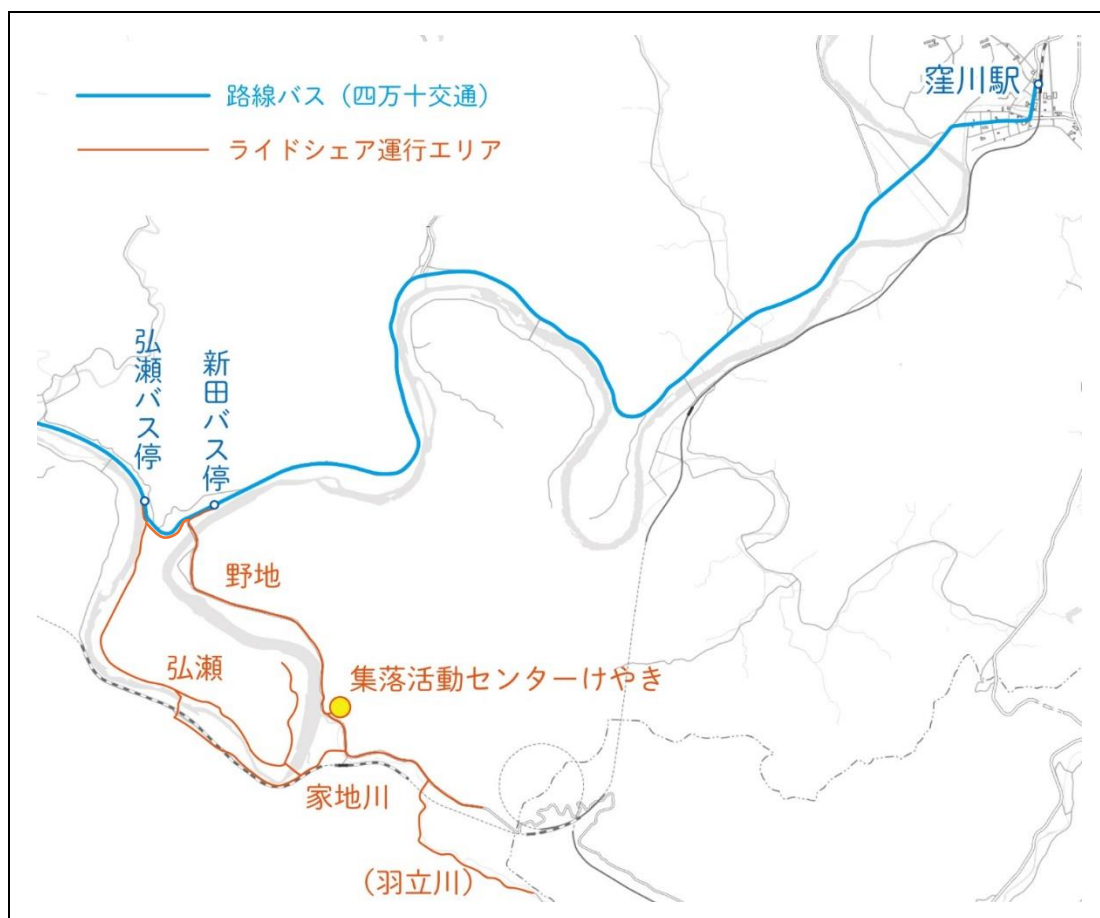
運行の態様	区域運行
運行の主体	四万十町が運行主体 運行を集落活動センターけやき（四万十オルモ組合）に委託

(2) 運行の区域

野地・家地川・弘瀬各地区を集落活動センターけやきを中心に運行（下図のオレンジ色の区域）する。

各地区から窪川方面もしくは大正方面には、新田バス停から幹線系統の路線バスに乗り換えて移動可能となる。

図：令和8年4月からの路線図



(3) 運行時刻表

ライドシェアは、基本的に新田バス停での窪川方面及び大正方面との接続に主眼を置いたダイヤ設定とする。

運行は月曜から金曜とし、祝日であっても運行する。ただし、年末年始には運休する予定で運行計画を整理する。

窪川方面行き（大正方面からの帰り）		大正方面行き（窪川方面からの帰り）	
新田バス停着 （ライドシェア）	新田バス停発 （四万十交通）	新田バス停着 （四万十交通）	新田バス停発 （ライドシェア）
① 07:05	07:08	07:27	②乗換後すぐ発車
③ 09:34	09:37	08:37	④乗換後すぐ発車
⑤ 12:17	12:20	11:19	⑥乗換後すぐ発車
⑦ 13:26	13:29	13:27	⑧乗換後すぐ発車
⑨ 15:48	15:51	15:45	⑩乗換後すぐ発車
⑩ 17:55	17:58	16:48	⑫乗換後すぐ発車

※ おでかけ便は路線バスとの接続を考慮して予定の3分前には新田バス停に到着

※ おかえり便はすぐに乗り換えできるよう路線バス到着直前にバス停にて待機

※ 弘瀬バス停での接続も同様に対応するが、新田バス停と弘瀬バス停での予約が被った際には、新田バス停を優先する。

(4) 利用方法

ライドシェアの利用には必ず予約が必要とする。

予約は利用希望日の前日 15:00 までに電話にて申し込むこととする。

① 集落活動センターに電話予約する

弘瀬の▲▲です。
4月22日の第2便を自宅から
新田バス停まで利用したいです。
住所、連絡先は…

①氏名、
②連絡先、
③利用する日、
④利用する便名、
⑤乗車場所
を伝えて下さい。

② 予約が受け付けられます

弘瀬の▲▲さんですね。
ご予約を承りました。
予約の締め切り後、改めてお迎
えの時間をお知らせします。

運行事業者にて、予約を受け付
けます。この時点で満席の場合
は、別の便への変更をお願いし
ます。

③ 乗車時間確定の連絡がきます

弘瀬の▲▲さんですね。
18日にご予約いただきました
4月22日の第2便ですが、9:20頃
ご自宅までお迎えにいきます。
時間前にご自宅前で
お待ちください。

予約締め切り後、予約した
人に折り返し電話で乗車予
定時間をお知らせします。

④ 利用時はちょっと早めに待機を

乗車予定時間を目安に、車両がお迎えに
来ます。時間には多少のズレが予想され
ますので、少し早めに乗車場所でお待ち
ください。
また、乗務員に分かるように合図をして
ください。